

2023年3月発売(定価2,000+税)

『アンデルセンの童話1』

作：H.C.アンデルセン 翻訳：矢崎源九郎 陶彫：結城美栄子

ISBN:978-4-9907925-8-9 茅花舎

アンデルセンの童話1

ハンス・クリスチャン・アンデルセン作
矢崎源九郎 訳
結城美栄子 陶彫

アンデルセンの童話は
「人生で三度読め」といわれます。

子どもには楽しく、
大人になっては味わい深く、
老いては人生の素晴らしさを
しみじみと感じさせてくれます。

—— 佐藤義隆 元岐阜女子大学文化創造学部教授

アンデルセンの童話は「人生で三度読め」といわれています
佐藤義隆 (元岐阜女子大学教授)

【翻訳】矢崎源九郎

1921年、山梨県生まれ。東京帝国大学(現・東京大学)文学部言語学科卒業。東京教育大学(現・筑波大学)教授。言語学者、北欧文学者。言語学関係の著者を多く残す。そのかわり、美しい日本語を大切に、戦後生き抜く子どもの心身に豊かな成長を願い、童話や児童文学の翻訳に務める。アンデルセンのほか、グリム童話、『フランダースの犬』、『人形の家』、『ピノッキオ』など多数の作品を紹介。1967年逝去

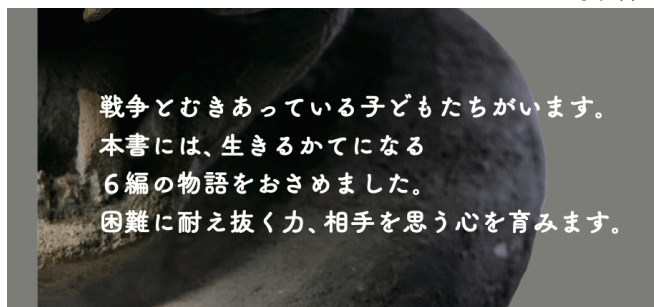
【陶彫】結城美栄子

1943年、東京都生まれ。女優・陶芸家。外交官の父と画家の母の元に生まれる。1968年から69年に、フルブライト奨学金受給者としてニューヨークのステラ・アドラー演劇学校に学び、俳優養成所13期を経て劇団「雲」に入り、女優の道を歩む。1984年からは陶芸家としての活動が活発になる。作品は東京国立近代美術館、岐阜現代陶芸美術館にも収蔵。

ご注文はJRCへ → FAX: 03-3294-2177 ☎ 03-5283-2230

取次JRC経由ですべての取次への出荷可。返品は長期にお受けいたします。

貴店名	部数	アンデルセンの童話1
		四六判 ハードカバー・192頁 4色
	冊	ISBN978-4-9907925-8-9 C0097 2,000円+税
		発行：茅花舎 電話&fax0467-58-1532



戦争とむきあっている子どもたちがいます。
本書には、生きるかてになる
6編の物語をおさめました。
困難に耐え抜く力、相手を思う心を育みます。

<目次>

わるい王さま

はだかの王さま

みにくいアヒルの子

りっぱなもの

空飛ぶトランク

人魚の姫

翻訳者が解説するアンデルセン

小学校高学年から大人まで

漢字にはルビがあります

